

会議（打合せ）報告書

会議(打合せ)の名称 又は議題	令和3年第11回 議会運営委員会		
報告者職氏名	主事補 小原 陽子		
日 時	令和3年3月15日（月） 午前10時00分	場 所	市役所本庁舎4階 大委員会室
出席者	出席者 血脇敏行委員長、柴田圭子副委員長、古澤由紀子委員、岩田典之委員、石井恵子委員、植村 博委員、中川勝敏委員、田中和八委員、秋谷公臣委員、長谷川議長、伊藤副議長		
欠席者	なし		
議会事務局	石井局長、萩原主査、小原		
【会議の概要】			
議題			
(1) タブレット導入の検討について			
(2) その他			
《決定事項等》			
(1) タブレット導入の検討について			
○タブレット導入の目的を、「議会運営の効率化及び議員活動の拡充」とする。			
・議会運営の効率化…文書保存・管理、コロナ禍でのリモート対応			
・議員活動の拡充…議会のチェック機能への活用、市民への情報提供			
(2) その他			

午前 10時00分 開 会

○石井議会事務局長 おはようございます。本日は大変御苦労さまでございます。
会議に先立ちまして、血協委員長より御挨拶をお願いします。

○血協委員長 皆さんおはようございます。

運営委員会の回数が非常に多くて、皆様にお集まりいただきありがとうございます。

本日、先般の議運で協議した中で、タブレットの導入の検討についての中の目的というところを明確にというようなことになってございますので、皆様に慎重なる協議をお願いいたしまして、挨拶とさせていただきます。本日はよろしくお願いいたします。

○石井議会事務局長 ありがとうございます。

それでは、委員会会議につき、議事等につきましては、血協委員長をお願いいたします。

○血協委員長 ただいまの出席は9名でございます。委員会条例第16条の規定により定足数に達しております。

これより令和3年第11回議会運営委員会を開会いたします。

本日の会議は、お手元に配付の議題のとおりでございます。

それでは、次第にあります議題1、タブレット導入の検討についてを議題といたします。

初めに、皆様のお手元のほうに先日お配りしたタブレットの見積表に誤りがありましたので、訂正したものを配付させていただいておりますので、訂正した部分等を事務局のほうから説明をお願いしたいと思います。

石井事務局長。

○石井議会事務局長 それでは、改めてお配りいたしました表でございますが、前回お配りした一覧表の中に、記入漏れが2か所ほどございました関係で、改めて提出をさせていただいております。

なお、業者から頂いた見積り、これは全て総額で頂いておりますので、正解の金額としては、総額が正しい金額になります。ただ、便宜的に年度の負担を明確にするために、1年目、2年目、3年目という形で、事務局のほうで割り算をしてお示ししたのですが、端数の関係で、これを足し上げても合計にはならないということだけ、1点だけ御理解の上、目安として見ていただければと思っております。正しい金額は、総額ということで御理解いただければと思っております。

以上です。

○血協委員長 ありがとうございます。

それでは、今、事務局長の説明のありましたように御理解をいただきたいと思っております。

それでは、本題でありますタブレット導入の検討についてということで、先日3月9日の議会運営委員会において、タブレット導入検討会から最終報告を受けて議運が決定した事項について、改めて見直すということが決定いたしました。

それで、先般意見がありましたとおり、タブレット導入の目的についてを協議することといたしました。ついては、この導入の目的について、皆様の御意見を伺いたいと思いま

す。

この目的については、タブレット導入検討会のほうでも、設置要綱の中に第2条として目的が四つ示されてございます。

一つ目が、「業務の効率化及び経費削減」と、二つ目で「執行部及び市民との情報共有」、三つ目として、「災害時の速やかな対応」、四つ目として、「ペーパーレス」というような四つの項目があるのですが、その部分も含めまして、さらに目的を追加等がありましたら、皆様のほうから御意見を頂きたいと思えます。

それでは、皆様、御意見のほうをよろしくお願いいたします。

岩田委員。

○岩田委員 今、導入検討会の目的を委員長が読み上げましたけれども、これを基に訂正なり修正なりするのか、あるいは、これは全く考えないで新たに目的を考えるのか、確認をしたいのですけれども。

○血脇委員長 このあたりについては、皆様で、例えばですけれども、この四つの項目の一つはなくしてもいいのではないかとか、あるいは、これは残すべきだろうとか、あるいは追加すべきだろうとかいうものがあれば、それをここで御協議いただきたいと考えております。

以上です。

岩田委員、よろしいでしょうか。

○岩田委員 はい。じゃあ。

○血脇委員長 岩田委員。

○岩田委員 じゃあ、この四つを基準として、意見を申し上げてよろしいですかね。

○血脇委員長 はい。

○岩田委員 これタブレットを議会が導入をする目的ですので、例えば3番、災害時の速やかな対応。これは要らないのじゃないかなというのが一つと。それから、4番目のペーパーレス化。これはもちろん最終目的ではありますけれども、今導入する目的はこれではなくて、書くのであれば、一部ペーパーレス化もできるでしょうから、ペーパーレス化による環境負荷の軽減とかですね。

それからあとは、これ、導入の目的ですから、2番目の執行部及び市民との情報共有というの、タブレットを議会に持ち込むことによって情報を共有するという、市民との情報共有とか、執行部とか、あるいは議会内の情報共有なら分かるのですけれども、市民との情報共有というのが、いかがなものかなと思っています。

あとは議員個人とすると、資料の整理とか、あるいは文書の保存とか、そういうことを目的に加えたほうがいいのかと思います。

それから、どこに入るか、どう変えるか分かりませんが、例えば議会事務局の負担軽減とか、議会内の情報伝達の迅速化であるとか、議会運営の効率化とか、その辺を加えるかどうか。以上、意見を申し上げました。

以上です。

○血脇委員長 ただいま岩田委員のほうから、3番は削除してもいいのではないかと。4番はペーパーレス化ですけれども、環境負荷の軽減ですとか、そういうものを加えたらどうだと。

それから、2番の部分は、市民との情報共有ということで、市民は特別必要ないのではないかとということと、それから追加として、議員の資料整理や保存ですとか、それから議会内の効率化というような意見が出ましたが、そのほかに皆さん御意見いかがでしょうか。今、岩田議員のおっしゃったところも含めた部分で意見を頂きたいと思います。新たな意見でも結構です。よろしくお願いします。

古澤委員。

○古澤委員 進め方ですけれども、今、岩田議員がいろいろおっしゃってくださって分かったのですけれども、せっかく検討委員会のほうで4項目出してくださったので、それ1項目ずつ基本にしながら、付け加えたり、削ったり、全体で足りないものは、また加えるとか、そういう形でやったほうが整理しやすいのではないかと思いますけれども、どうですか。

○血脇委員長 今、古澤委員のほうから、検討会のほうで4項目出ているけれども、この4項目について、一つずつ進めていったらどうだというような御意見がありましたけれども、皆さんいかがでしょうか。そのような形でよろしいですか。

〔「はい」と言う者あり〕

○血脇委員長 それでは、一つずつ進めさせていただきます。

まず、それでは第2条の1にあります事務の効率化及び経費削減というような目的となっております。ここにつきまして御意見を頂きたいと思います。

岩田委員。

○岩田委員 この業務の効率化というのが、どこを指しているのか。つまり、議会の中なのか、あるいは執行部なのか。その辺がいまいちよく分からないので、例えば議会運営の効率化とかにすればいいと思いますね。

○血脇委員長 ただいま業務の効率化と、ちょっと漠然としているだろうというようなあれで、そこを議会運営ですとか、そういうふうに変更したらどうだというような御意見だったかなと思います。皆さんいかがでしょうか。

柴田副委員長。

○柴田副委員長 導入することで、議会で、あるいは議員個人でどういうふうなことが目的とされるのかという観点からすれば、議会運営の効率化というのが一つの柱となるのはいいと思います。

それと一方で、議員活動がどのように効率化されるかということも、もう一つの柱としては必要なのではないかと思います。

○血脇委員長 この業務の効率化ということで、ここに議会運営の効率化という部分。もう一つ何でしたっけ。

○柴田副委員長 議会で導入することによって、どういうことが良くなるのかということ

を目的として掲げるのであれば、議会運営自体と議員活動と二つあるのではないかということ。それで続きを言おうと思ったのですが、2番の執行部と市民との情報共有というのはどうなのだろうということなのでしたけれども、それこそ、これは。

○血脇委員長 2番のほうは待ってください。今1番のほうで。

○柴田副委員長 それは、議員活動の効率化という中に入ってくるから、これはこれで必要かなと思います。ということと言いたかったのです。それは、リモートでたくさんの資料がタブレットの中に入っていれば、外においても市民と情報共有ができるわけですし、それこそ、それを使ってスクリーンに映し出して、市民にお伝えすることもできるわけですし、そういう意味では、議員活動が効率化するであろうということ。

それから、すぐにチェックができるので、議員活動としては、チェック機能が大幅にアップするだろうと。その二つは議員活動の効率化として、二つ挙げられるのではないかなと思います。

○血脇委員長 それでは、業務の効率化ということで、これは議会運営及び、及びというか、文言は別にして、議員活動の効率化と、ただ業務だけでなく、この二つを加えたほうがいいのではないかというような御意見だったかなと思いますが、皆さんいかがでしょうか。

古澤委員。

○古澤委員 私はどちらかというところ、このタブレットの導入をツールの導入と考えていますので、この業務の効率化というのは何となくイメージできるのですが、議会活動の効率化まで広げてしまうと、皆さんどんなイメージで、どんなところでコンセンサスを取るのかなというのが分からないのです。だから、もう少し具体的に分かってありがたいのですが、どちらでも、これを提案している方。

○血脇委員長 柴田副委員長。

○柴田副委員長 例えば議会運営の効率化となったら、紙資料が削減されるであろうとか、書類の印刷なんかも削減されるだろう。それから、整理と保存ができるということで、そういう意味では、事務局の労力も削減できるだろうという意味でのコスト的なものも削減されるのではないだろうかということを考えます。

それから、議員活動については、資料が大量にタブレットの中に入っているわけですから、例えば外で市民と話し合いをしたりするときに、ここはこういうことだという説明もとてもしやすくなるだろうし、あと自分で資料が検索できたり、それからキーワードで検索もできたりすると、あと議事録の検索とか、そういう意味で非常に便利だろうなど。そういう意味での議員活動の効率化というのが考えられるかな。そういうふうに二つ分けられるかと思いました。

○血脇委員長 古澤委員。

○古澤委員 外に出て市民に説明するときに、大変便利だということはよく分かりました。ただ、今、説明をお聞きすると、議会運営の効率化と言いますが、おっしゃったのは資料の取扱いの部分だと思うのですよね。そこは私も分かります。現実的にどうなるか

はよく分からないけれども、そうであろうと想定することはできるけれども、議会運営という大上段にバーンと載せるほどの大きな影響というか、目的があるのかなという、そこは。目的だから、掲げておけばいいということかもしれませんが、ちょっとそこは分からないです。

○血脇委員長 柴田副委員長。

○柴田副委員長 そのくらいをちゃんと掲げないと、市民を説得できないのじゃないかと思います。だからこそ、今みんなで出し合って、どういうことが目的になるのだろうねというのを今日話し合う対話の場であると認識しています。

○血脇委員長 古澤委員。

○古澤委員 市民を説得するために上げるのではなくて、実際にその中にすることがいっぱいあれば、その結果を載せて、市民が、ああそうだと説得されるのだと思うのです。そういう意味で、中身がまだ議会運営というほどのものじゃないのかなと疑問があったので、出ただけですけれども。

○血脇委員長 柴田副委員長。

○柴田副委員長 お金をかけるわけなので、そのことについて、きちんと説明ができなくてはいけないという意味で市民の説得という言葉を使いました。

私が言ったのは、ほんの一端であって、多分皆さんいろいろなお考えあると思うので、それをどんどん出し合っていけば、ある一定の到達点が見られるのではないかなと期待しているのですけれども。

○血脇委員長 ただいま議会運営の効率化、議員活動の効率化ということで、古澤委員のほうから、議会運営というのはということもあったのですが、そのあたりにつきまして、皆様からの御意見を伺いたいと思います。

岩田委員。

○岩田委員 私は、この目的は議会運営の効率化、これが一番だと思いますね。これが第一に来ると思いますけれども。タブレットを導入する目的というのは、それは最終にはペーパーレス化もあるでしょうけれども、議会として、タブレットを委員会とか本会議に持ち込むことによって、先ほども柴田副委員長のほうからありましたけれども、すぐ検索できるとか、欲しい資料とか過去のものとか、そういうものがすぐ分かるし、あるいは、今配付している会議録ですとか、例規集ですとか、議案の資料ですとか、そういうものを削減できるわけですね。そういう意味では、議会運営としても効率、つまり事務局のほうの負担が減るでしょうし、全てを含めて、私はこの議会運営の効率化というのが一番に来るべきだと思っています。

以上です。

○血脇委員長 ほかに御意見ございますか。

柴田副委員長。

○柴田副委員長 議会運営ということで付け加えますと、例えば今ホワイトボードに議会の日程とか書かれていますよね。ああいうのをもうタブレットで共有してしまえば、そこ

に一々見に行かなくても、手元ですぐ分かる。あるいは教育委員会会議だの何とかの審議、まちづくり審議会だの、そういう公開されている審議会なんかも載ることになれば、市の行事も一遍に分かるようになる。

そういうことで、まず時間的な効率がアップできるのと、あと議運とか全協の御案内も今メールでしてありますけれども、それをもうタブレットでやってしまえば、さらに紙で配ったりとかもしてありますけれども、そういうことは一切必要なくなるので、そういう意味でも運営の効率化ということは図れるかなと。

それから、情報の共有というか、今LINEグループができましたけれども、そういうような一斉にやり取りする必要があるようなものについても、タブレットの上で何か確認ができるという状況になるのではないかと思います。

○血脇委員長 ほかに御意見ございますか。

田中委員。

○田中委員 議会運営の効率化、これは大きな柱というのは、そのとおりにかなと思います。その中で、例えば事務局側のどんな効率化ができるのかと、その中の事務局、それと議員というような形で分けまして、議員のほうとすると、どういうことができるのかと、こういう目的ができるというようなのを少しずつ挙げていかれたらいかがなかなと私は思います。

○血脇委員長 ほかに御意見ございますか。

石井委員。

○石井委員 私の中では、すごくまだ漠然としていて、ここで発言しても、皆さんから御意見頂かないとまとまらないなと思っているのですが。今お聞きしていて、議会運営の効率化、そのとおりにだと思います。議員活動の効率化、それもすばらしい柱だと思います。これでいいと思うのですけれども。

もう一つ、議会に期待されていること。市民が議会に何を期待しているかということ、チェック機能を期待していると思うのですよね。行政がどんな提案をしてきて、それを議会がどんなふうにチェックしているのか。予算もそう、決算もそうですけれども、市民から見ると議会に期待していることというのは、そういうチェック機能なのかなと思ったりします。議会運営の効率化に入るのかなと思いつつ今も考えていたのですけれども、より見えやすくするためには、このチェック機能の強化というのも表出ししたほうがいいのかないかなと思いつつ。すみません、漠然としていて、はっきりしないのですけれども。

以上です。

○血脇委員長 古澤委員。

○古澤委員 今、お三方の御意見を伺っていて、皆さん、もっともなことをおっしゃっているのですけれども。先ほど岩田議員がおっしゃった資料を取り出しやすくするとか、いろいろありましたけれども、それも今、石井委員が言われた、最終的にチェック機能をより正しい手順ですということに結びつくと思うのですよね。そのためのツールだと思うのです。だから、上げるかどうかは別として、目的としては、チェック機能の強化と

いうのですかね。強化というか、確実なものにするというか、その手段でタブレットの導入をするというところは押さえておいていいと思います。

○血脇委員長 岩田委員。

○岩田委員 石井委員の言われたチェック機能ですね。私は議会運営の効率化とは違うと思うのです。あくまで効率ですから。それは、チェック機能というのは、議会機能の強化ですから。効率化と機能の強化とは別なので、違う段落でそれは加えていけば、効率化とは違う段落で加えて、チェック機能の強化とか、議会機能の強化とか、議員の資質の向上とか、違った形で加えて、効率化とは違うと思います。

○血脇委員長 岩田委員のほうから、このチェック機能、非常に重要な部分であるけれども、名前はこちらに置いて、議会運営の効率化、それから議員活動の効率化とはまた別枠で、例えば議会機能の強化ですとか、そういうような形で入れたらどうかと、別枠でというような、要するに今ここにタブレットの検討会で4項目入っているのですけれども、この4項目からまた別のところで一つ加えたらどうかというような御意見だったかなと思いますが、岩田委員、そのような理解でよろしいですね。

○岩田委員 はい。

○血脇委員長 ほかに御意見ございますでしょうか。

植村委員。

○植村委員 皆さんがこういうふうに論議しているところで非常に言いづらい意見なのですけれども、自分としては、まず前回の議運で帰るときに、次は目的を考えてきてくださいと言われたので、今これも自分は考えてこなかったのですね、その項目を。何で導入するかということについて一生懸命考えてきたのですけれども、それ言わせてもらってもいいですか。

○血脇委員長 はい、どうぞ。

○植村委員 自分は、今回、このタブレット導入というのは、幾つかこういうためという理由があると思うのですけれども、簡単に言えば、今、国を挙げてのデジタルトランスフォーメーションですよ。

また、コロナ禍でいろいろな教訓を私たちは積んできたわけですよ。そんな中で、議会がデジタル化の一つとしてタブレットを取り入れるということは、すごいいいことだなと。リモートとかウェブ会議とかいろいろなこともできるようになってきます。それがみんなコロナからの教訓にもつながっていくわけですから。

あと、必要な資料は、ネット上でタブレットで共有でき、その人たちの分、ペーパーが減る、印刷も省ける、配る事務局の手続、いろいろなことが省けて事務局の負担の軽減になる。これがまた一つですね。

それから、審議の活性化につながらなければ意味がない。研さんを深めて、議会や論議の充実が図られなければいけないと思うのです。そういうような理由から取り入れると思うのですけれども。

ただ大事なことは、デジタル媒体と紙の媒体、これについて考えなければいけないとい

うことなのです。アメリカで17年にわたって、17万人をこういう観点で調べ上げた報告書がいつだったかの新聞に出ておりまして、紙で読むほうが話の内容、筋立て、場面などをよりよく記憶し理解できた。調べた中には、子供から、小さいときからデジタル媒体に慣れて育ってきた人たちも対象に入っていて、その人たちの結果も同じだった。こういう子供たちは、早く読むことがよく理解することだと取り違える傾向が非常に多かった。そういうようなことから、既に私たちは、このデジタル時代の真っただ中にいるわけですが、デジタル化はさらにどんどん、どんどん進んで、デジタル媒体と紙媒体、双方で深い読みのできる、二重に読む脳を育てないといけないというのが、この報告書の結論でした。自分の場合も、両方使ったほうがいいのですね。

ですから、このデジタル媒体の特色を生かして、自分という個性に合った使い方をします。そのことによって、一人一人の議員さんたちの資質を高めて、論議とか政策について深めていくことができる、そういうことに役に立たなければいけない。であるならば、今の時代の流れで、誰一人取り残さないという観点から、事務局と慣れた人でグループを作って、簡単な基礎的な仮免許ぐらい取れるような、そのような状況に持っていくことが大事だと。

だから、いろいろ項目でこうだ、こうだという前に、まずは人間の特色として、タブレット入れたから全部解決するとか、紙がゼロになるとかということではなくて、基本的にどのように役立てていくかということを中心にしながら、そのために一つ一つの作業とか、こういう項目に当たるよね、目的は。分けていけばこうなるねと、やっていけばいいのかなというふうに思っているところです。

いろいろな方が、先んじて導入したいろいろな他市の例を紹介してくれていますけれども、その内容というのは、僕が言ったデジタル媒体を読む力と紙媒体を読む力の基礎、それを基にして成功も失敗もあるということなので、それをよく参考にしながら、人間ってこういうものだと思った上で、このデジタル化を進めていかなければいけないのかなと思いましたので、少し論議と外れているかも分かりませんが、そこは大事だなと思っておきます。

○血協委員長 古澤委員。

○古澤委員 大変いいお話を伺ったと思います。私もずっとそのように思ってきました。それを前提にするならば、私はツールとしての部分を取り入れて、あと本質的な意味での議会の効率化とか資質を高めるとか、そういうことは、使っていくうちにいろいろ出てくるのでしょけれども、本質的には、このツールの外にあると思っているので、あくまでも本当はツールじゃないかなと。だから業務の効率のほうが、むしろ私はぴったりきます。議会の効率化、議員の活動の効率化と言えば、市民に対する受けはいいでしょうけれども、言ってしまうと、たかが資料の取り出し方が早いとか、便利だとか、その程度のものです。結果的に言えば、業務の効率化のほうがいいのかなと私は考えています。

○血協委員長 田中委員。

○田中委員 植村委員が今、宿題のほうのお答えを申し上げたわけなのですけれども、私のほうも、しろい未来研究会3人でまとめたものを読ませていただいてよろしいですか。

○血脇委員長 はい。

○田中委員 まず、目的に関してなのですが、導入の目的と使用の目的に、うちの会派は分けております。

導入の目的に関しては、先ほど石井委員のほうからもお話がありましたけれども、議員のチェック機能及び市民への情報提供力をアップさせ、また、議会運営の一定の効率化を図りながら、コロナ禍におけるリモート対応能力も高めるため、早急に同一のタブレットを一斉に導入してほしいと。その意味もありますけれども、それは置いておきまして、使用目的としては、五つ機能を考えております。

その一つが通信ですね。それから検索、共有、保存、それで最後にリモート。これも一つ一つに対して、こういうことができるということを私どものほうではまとめておりますので、使用目的、導入目的については、大筋はこういうことでございます。

○血脇委員長 今、田中議員のほうから、導入の目的と使用の目的というような形で二つに分けて、使用目的については五つ、通信、検索、共有、保存、リモートというようなことだったのかなと思います。皆さん、今の御意見等も含めまして、いかがでしょうか。

石井委員。

○石井委員 今、田中委員のおっしゃった導入の目的というところだけ、もう一回ゆっくり言ってください。

○血脇委員長 田中委員、すみません。導入の目的をもう一度お願いいたします。

○田中委員 導入の目的は、議員のチェック機能及び市民への情報提供力をアップさせ、また議会運営の一定の効率化を図りながら、コロナ禍におけるリモート対応能力も高めるため導入するということです。

○石井委員 ちょうどミックスされている感じだよね。

○血脇委員長 今、田中委員がおっしゃったのは、この項目を一つずつ今やっているとこなのですけれども、総合的に一つに目的を集約しているかなというような感じが取れました、導入の目的。使用の目的については、先ほど言った五つというような形でまとめられているのかなと思ったところです。

皆さん、ほかに御意見いろいろございますでしょうか。

秋谷委員。

○秋谷委員 先ほどから聞いていると、皆さんおっしゃっていることが、私には全て正しいように思われてしまうのです。議会の効率化でもあるし、議員活動の、個々の議員の力のアップになったり、それからチェック機能。当然タブレットであれば、いろいろな資料も簡単に入るし、それから皆さんと共有もできるから、全て否定するものでもない。皆さんこれ、田中委員も言ったように、皆さん言ったことが、全て私にはそのとおりだと思うので、もし、これうたうのであれば、議会運営の効率化、議員個々の活動の効率化にもなるし、その下にいろいろな点のポイントとして、いろいろな皆さん言った四つも五つもある、それを上がってくるのですけれども。

じゃあ、それをどうやってまとめるのだという、大きくは議会運営の効率化だったり、

議員個々の活動の力のアップだったり、皆さんとの共有もできるということで、事務局含めて皆さん、思うのですけれども、私的には、少し紙ベースも残しながらやらないと、私一遍にタブレットというわけにいかないのです。その辺のところは、最初から問題を一つ一つ見ながら、1年、2年として、皆さんタブレットの使い方も慣れてくるから、どんどん向上していくから、途中でもこの目的が変わるかもしれないし、その辺のところは最初、これをどうやってまとめるかとなると、私には皆さんの言っていることが全て正しいので、全てこれを項目には入れてほしいくらい、実際は、今のところ、まとめ切れないというか、皆さんの言っていることが全て正しいように思われるので。やりながら、1年2年かけながら、この中の一つ一つ消していったり、足していったりするような案件じゃないかと、今そのように思いました。

以上です。

○血協委員長 中川委員。

○中川委員 私も、今の秋谷委員の考え方と同様で、我々、秋谷委員や私みたいな世代は、なかなかタブレットに慣れていないわけなのだけれども、慣れていけばいくほど、この目的と議員活動の強化とか、そういうふうないろいろな面でパワーアップしていけるのではないかというのは共有できます。

そういう点で、例えば一番冒頭、岩田議員が発言されたように、ペーパーレス化とか、環境にやさしいという、そういうふうな大きな目的というのは、多分時間がかかると思うのですよ。一遍に大きく削減できないけれども。しかし、皆さんが有効に使いこなしていけば、そういう方向にも行くし、私個人としては、個人の意見を言えばいいのですかね。これで市民からいろいろな要望とか意見交換ができるときに、これ見せて、こういうことを今議会で話し合っているのだと、あなたの感想や意見出してくれとか、そういう使い方もできるので。市民のチェック機能という言葉で今語られていますけれども、そういう点でも、議員活動と一体となって強化できるかなというふうに感じております。これ導入されたら早く覚えなきゃなという気持ちのほうが焦っておりますが、目的については、こういうふうには受け止めております。

○血協委員長 古澤委員。

○古澤委員 今の田中委員の御意見、すごくよく分かります。先ほどの植村委員の御意見も、全く私の気持ちが代弁されたようなものだったのですけれども。

ただ、説明として、意図はすごくいいのですけれども、散文的なので、目的とかそういうものにまとめるときに、田中委員の中にそれを込められたらいいと思いますし、導入の目的の最初の部分で、議会のチェック機能の拡充とか出てきました。先ほど岩田委員がおっしゃったように。あれは最終的にここに持っていきたいということで、バンと出してもいいと思うのですよ。

その後、通信、検索、共有、保存、リモートですか。非常にテクニカルなところを出してきて、直接的には議員の運営の拡充とかにつながらないけれども、最終的にはつながるのだというのが見えてきて、田中委員の会派の分け方はいいなと思いました。

ただ、検討委員会のものも、そこに含めるのか、含めないのかという検討は必要だろうと思います。

○血脇委員長 今、検討委員会のほうで四つの項目が出ています。今一つずつやっていったところなのですが、田中委員のほうから、総合的にまとめた部分を文章化されているのですけれども、どのような形で目的を示したらいいか。項目を幾つか挙げて、それを一つの文面にするのか。あるいは文面じゃなくて、1項目ずつ、例えば五つなり六つなりにしていったらいいのか。そのあたりを、この先どういうふうに進めるというか、どういうふうな形にしたらいいかというのを検討いただきたいなど。確かにこれがいい悪いじゃないのですけれども、議会活動、議員活動、それから様々な情報共有だとか、いろいろなものがポッポッ、ポッポッと出ているやつを一つの文面にまとめる方向で行くのか。それとも、一つずつ落とすか。このあたりを目的として示す上で、どのような形にしたらいいかということを検討いただきたいなど思っているのですが、皆さんいかがでしょうかという前に、休憩いたします。再開を50分といたします。

午前 10時41分 休憩

午前 10時50分 再開

○血脇委員長 それでは、会議を再開いたします。

先ほど田中委員のほうから、目的ということで、導入それから使用というような2項目の目的ということで示されたところですが、今ここで導入の目的というようなところで進めさせていただきたいと思います。

田中委員、御理解のほどお願いしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

○田中委員 はい、了解しました。

○血脇委員長 それでは、導入の目的ということで話を進めさせていただきます。

先ほど申したとおり、文言、一つの文章にするのか、あるいは活字を出すのか、このあたりを協議しながら進めていきたいと思います。今から協議会にしたいと思いますので、よろしくお願いをいたします。

午前 10時50分 休憩※

午前 11時18分 再開

○血脇委員長 会議を再開いたします。

皆様から意見を求めたいと思いますが、御意見ございますでしょうか。

柴田副委員長。

○柴田副委員長 導入の目的ですけれども、たくさんいろいろな意見が出たのを大体集約しますと、ペーパーレスとか、資料の検索を容易にするとか、そういう議会運営の効率化

の部分と、それからリモートで対応するとか、市民と情報共有するとか、自分で資料を検索するとか、そういう議員活動自体のレベルアップと、二つに分けられるだろうということが分かってきましたので、これを導入の目的として二つ掲げるということで、議会運営の効率化及び議員活動の拡充ということを目的として据えたらどうかということに御賛同いただければと思います。

○血脇委員長 今、柴田副委員長のほうから、タブレットの導入目的は、議会運営の効率化及び議員活動の拡充ということで集約したらいかがかということで御意見がありました。御賛同いただきたいということがありましたが、皆さんいかがでしょうか。

〔「賛成」と言う者あり〕

○血脇委員長 それでは、このタブレットの導入の目的については、議会運営の効率化及び議員活動の拡充。これを目的に導入を進めていくということで御異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う者あり〕

○血脇委員長 それでは、目的はこのように決定をさせていただきます。

それでは、本日のテーマでありましたタブレット導入に向けての目的を明確にすることで協議が整いましたので、この議題1を終了させていただきます。

それでは、今後、この目的に沿った中で、様々また検討、協議をしていかなければならない部分が多々ございますので、皆様の御協力をお願いしたいと思います。

それでは、この議題1を終了したいと思います。よろしいでしょうか。

〔「はい」と言う者あり〕

○血脇委員長 それでは、続きまして、議題2、その他についてを議題といたします。

委員の皆様から何かございますか。

柴田副委員長。

○柴田副委員長 1の続きとも言えるのですけれども、ただ導入目標を今日決めましたので、その後のことが全く見えない状況なので、ある程度のタイムスケジュール的なものを念頭に置くぐらいのことをしておいたほうがいいのではないかと思いますけれども。

それと、もう一つ、この間決まったことの中に、議場や議運なんかに、手持ちのパソコン等を持ち込むのは、ルールを決めて早くオーケーとするということも、この間、2月19日の中では決まっているので、そこについても、できたら、着手ができればいいのかなと思います。

以上です。

○血脇委員長 議場へのパソコン、タブレット等、端末の持込みということで、これにつきましては、早めに協議をしなくてはならない部分だと思います。

ただ、議場のほうのWi-Fiがいつから、そのあたりも事務局のほうで、もう工事は終わっていますけれども、どこまでつながる状況になっているのか確認取れていないので、このあたりも含めて、また議会運営委員会を開催したいと思います。

それから、スケジュールという話もございました。先般の話で、ある程度スケジュール立てをしながら今後進めていくべきだろうというような御意見もありましたので、そのあ

たりのスケジュールも含めて、今後協議を重ねていきたいと考えております。その節は、皆様の御参集をお願いしたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

柴田副委員長、よろしいでしょうか。

○柴田副委員長 何も決まらない。

○血脇委員長 岩田委員。

○岩田委員 本会議とか委員会の持込みをどうするかというのは、Wi-Fiの工事が終わって、いつから実際にということは、それは4月から分かりません。それは別として、その使用についてのルールといいますか、それを決めることを決めちゃったほうがいいのじゃないですか。工事が終わって、そういうできるような状況になってから話すのじゃなくて、検討できることは検討しちゃったほうがいいのじゃないですか。

○石井議員 今日じゃないでしょう。今日。

○岩田議員 時間あるから今日でもいいし。いつまでに決めるとか、そういうタイムスケジュール。

○血脇委員長 端末の持込みについて、どうしますか。今日これから。もう既に議長から、今手元にないのですけれども、委員会、本会議以外の会議の持込みのところは、議長からこのような形でというような書面が出ているところなのですけれども、もう少し、今度、本会議、委員会にそれを持ち込むとなると、細部を協議しなくてはならない部分があるのかなと思います。

見つかりました。令和2年8月26日付で議長から、端末機について、本会議、委員会以外とする。これ委員会以外とするになっているので、これを今度、委員会にした場合、細かなところを決めなくてはならないと。音を出さないよう周りに配慮するですとか、閲覧、関連事項検索、会議メモ作成及び当該議長の許可なき場合は、個人的な情報発信やメール等の対応は行わないものとするというような内容で議長から示されているところですが、委員会、本会議については、細部を協議しなくてはならない部分がありますが、皆さん、協議の場を改めて設けるということではいかがでしょうか。なるべく早いうちにとは思っています。

岩田委員。

○岩田委員 もし今度、協議をするのであれば、この五つのうちの2を削除したもので、そのまま生かして検討すればいいと思いますが。これ1が、この前、事務局からもらった文書が間違っていますので。石井委員のほうから、そのとき指摘がありましたけれども。

端末機とはノート型及びタブレット型端末を指すではありません。前決まったのは、端末機とはノートパソコン及びタブレットを指す。タブレット端末を指すなので、この2番目の端末機が使用できるのは、本会議及び委員会以外とするこの2番、2番を削除したものをたたき台として決めていけばと思います。

以上です。

○血脇委員長 それでは、委員会、本会議へのタブレットの。

○岩田議員 5番も要らないな。

○血脇委員長 については、改めて、また皆さんに参集いただき、協議したいと思いたすがよろしいでしょうか。

〔「はい」と言う者あり〕

○血脇委員長 柴田副委員長。

○柴田副委員長 それは今度4月に、いざW i - F i が使えるようになるまでには、それを検討するということと。

あと、前回書いたのが、タイムスケジュールをホワイトボードには書いているのですよね。2022年、来年の6月には、タブレットをフル稼働開始みたいなことも書いているのですけれども、こういうのというのは決定は。

○血脇委員長 決定していません。

○柴田副委員長 していませんね。

○血脇委員長 はい。

○柴田副委員長 そしたら、今後、導入の目的ができれば、次がどういうことに使用できるかとかいうようなことを検討して、じゃあ、さらに導入にしていきたいと思いますというふうに段取りを追って進んでいくということになるのですか。

○血脇委員長 そうです。

○柴田副委員長 そのときのどういうふうな目算で導入までに持っていかみたいなことというのは、どういうときに審議するのですか。次の議運で、こういうことを決めて、こういうふうに持っていきたいと思いますというように決めるのですか。

○血脇委員長 先ほど申し上げたとおり、今後のスケジュール、導入の仕方、様々ありますので、改めて議会運営委員会を開催させていただいて、皆様と御協議をいただきながら進めていこうと考えております。

柴田副委員長。

○柴田副委員長 次にどういうふうにとすることについて、こういうことを検討したら、次にこういうふうに検討できるねという検討項目みたいなことを少なくとも次の会議のときまでに、それぞれに考えて出しておくぐらいにしておかないと、また集まっても何も決まらないんじゃないかと思うので。

導入目的は決まりました。次にどういうことを決めていけば、貸与にするのか、購入にするのかはもっと先の話で、その前に何を決めれば、そこにたどり着くのかというようなところだけでも、少し考えてくるということを宿題として出したほうがいいのではないかと思います。

○血脇委員長 今、柴田副委員長のほうからあったのですが、前回、前々回だったか、議会では、タブレットを同じものを一斉導入するということが決定しております。

前回の議運において、一斉導入するに当たって、どのような方法で導入するかということ議論したら、話がまとまらずに、目的を先にしっかりと決めたほうがいいだろうということで本日が開催されているわけです。ですから、目的がここでしっかり決まりましたので、次の会議においては、タブレット一斉導入に向けて、どのような方法で導入するか

ということをまず検討いただきたいと思います。よろしいでしょうか。

〔「はい」と言う者あり〕

○血脇委員長 以上です。

○田中委員 今、詰めなくていい。例えば、次は規則やろうねとか、そういうのじゃなくていいですか。

○血脇委員長 もう一度お願いします。

○田中委員 今のお話で行くと、次に何やるかを考えてきてくださいというお話なのですが、例えば、次は規則をやりますとか。使用規則を完璧に作りましょうという話なのか。

○血脇委員長 いや。

○田中委員 じゃなくていいですか。

○血脇委員長 次の議運のときの予定は、タブレットをどのような形で導入するかというところをまず一つ。

それと、先ほど岩田委員がおっしゃられた委員会、それから本会議への今手持ちで持っているノート型パソコン、タブレット。これについて、昨年8月に議長から出されていたものをベースにして検討いただいてというこの2項目を次回の議会運営委員会で検討したいと考えております。田中委員、よろしいですか。

○田中委員 はい、了解しました。

○血脇委員長 以上でございます。

ほかに。

○石井委員 その他のところでの話がたくさんあって、その他がこんなにたくさん話が出ると、こんがらがっちゃうなと思って今、話聞いていたのですけれども。次の議運では、タブレットの導入方法についてという話ですよね。今、委員長のお話。

もう一つは、本会議、委員会でタブレットを持ち込むときの規則について。この二つについて話し合いますよという御提案がありました。であるならば、近隣市で本会議場に既に端末を持ち込んでいるところに、そういう規則があるかどうかを調べておいていただいて、それがたたき台にあると、話し合いが進めると思いますので、お願いしたいと思います、委員長。

○血脇委員長 はい、分かりました。局長よろしく申し上げます。

○石井議会事務局長 はい、かしこまりました。

○血脇委員長 ほかに御意見ございますでしょうか。よろしいですか。

〔「はい」と言う者あり〕

○血脇委員長 次に、議長から何かありましたらお願いいたします。

○長谷川議長 ございません。

○血脇委員長 事務局からありましたらお願いいたします。

○石井議会事務局長 特にございません。

○血脇委員長 ないようですので、以上で本日の議題は全て……。

中川委員。

○中川委員 実は3月4日の時点で、私、今、議運の会派選任のメンバーになっておりますが、諸般の事情で、私、中川から徳本光香議員に選任を変更したいという届けを議長宛てに出しております。議運の委員長には口頭で申し上げましたが、これは今の流れとしては、どう処理するかというのは、議会最終日、本会議で下されるというふうに事務局のほうで運んでいただいていると思いますので、今日その時点では、議運の、私、最後の日になろうかと思っておりますので。そういう形で届けを出しておりますので、よろしくお計らいください。お世話になりました。

○血脇委員長 今、中川委員のほうからありましたけれども、議会最終日の日ということと事務手続を進めているということですので、御承知おきください。

ほかに何かございますでしょうか。よろしいですか。

〔「なし」と言う者あり〕

○血脇委員長 ないようですので、以上で本日の議題は全て終了いたしました。

よって、第11回議会運営委員会を閉会いたします。

慎重なる御審議を賜り、誠にありがとうございました。御苦労さまでした。

午前 11時34分 閉会